

平成23年度第1回府中市環境保全活動センター運営委員会 議事録

■日 時：平成23年11月28日（月）午後3時40分から午後5時

■場 所：府中駅北第2庁舎3階第1会議室

■出 席：（敬称略）

〔委 員〕（9名）

岩本祥子、大崎清見、竹内章、塚原仁、内藤林三、比留間吉郎、増山弘子、室英治、
山田義夫

〔事務局〕（5名）

環境政策課長 加藤哲康、環境保全活動センター整備担当理事 監物正、
環境改善係長 佐藤文宣、自然保護係長 松本健、環境改善係事務職員 神田遼

■欠 席：（敬称略）

〔委 員〕（1名）

榎ヶ峠俊一

■議 事

1 委員長選出について

2 副委員長選出について

3 議題

(1) 平成23年度当面の事業計画について

ア 12月1日（木）の対応について

イ サポーターについて

ウ 活動センターの周知について

エ 活動センターの設備について

オ 事業実施予定について

(2) 平成24年度事業の方向性について

ア 平成24年度予算案について

イ 平成24年度事業計画策定上の課題について

4 その他

■資 料 1 府中市環境保全活動センター広報及びホームページ掲載記事

資 料 2 府中市環境保全活動センターサポーターリスト一覧

資 料 3 府中市環境保全活動センター日報（案）

資 料 4 日野市環境情報センター蔵書リスト

資 料 5 平成22年度環境保全関係事業一覧

資 料 6 平成24年度予算案

資 料 7 「環境保全活動センターは何をなすべきか」について（大崎委員提案）

資 料 8 「環境保全活動センターの業務（案）」（竹内委員提案）

■議事概要

開会

【加藤課長】（※開会挨拶）

- 1 委員長選出について
（委員の互選により、室委員が委員長に就任）
- 2 副委員長選出について
（委員の互選により、比留間委員が副委員長に就任）

3 議題

【事務局】（※資料1から8について説明）

- (1) 平成23年度当面の事業計画について
ア 12月1日（木）の対応について

【委員】

運営委員が当日どう対応するのか、何をしたらいいのか、あるいはサポーターをどう入れ込んでいくのかということ等についてご審議いただきたい。

9時から開設ということによろしいか。

【事務局】

9時から開設である。

【委員】

イベント的なことを行うのか。

【事務局】

オープニングセレモニーは予定していない。

【委員】

電話は12月1日から利用できるのか。

【事務局】

本来であれば、広報掲載日（11月21日）から電話が利用できるようにしておきたかったが、遅くとも12月1日には、広報に掲載した電話番号が利用できるよう調整できている。

【委員】

当日に運営委員が何をするかについて、前回の委員会等で議論はされたのか。

【事務局】

委員会の前段の懇談会で懇談会委員から、運営委員については、開設日に詰めておいた方がいいのではないかという意見が出た。具体的にどのような方法や人選にするかについての意見は出ていない状況である。

【委員】

電話対応については、担当者がしていただけたらと思うが、それ以外に運営委員が常駐し

なければならぬことはあるか。

【事務局】

12月1日から開設するわけだが、活動センターを進めていく上で、決めていかなければならぬことが山積している。今日ご議論いただく議題について、すぐ結論が出る訳ではないと思うため、開設日においても、運営委員にご議論いただければ幸いに思う。

【委員】

12月1日の概要は、いつ頃までに決めなければならないのか。

【事務局】

今日が28日のため、今日の議題の中で結論を出していただきたいという希望を持っている。

イ サポーターについて

【委員】

次にサポーターについて、増員策やサポーターの名簿及び管理方法、サポーターの具体的仕事及び役割等についてご審議いただきたい。

サポーターは、現在何名か。

【事務局】

個人が38名、団体が2団体である。サポーターに登録していただいてから時間が経っているため、登録していただいた方々に対するフォローや連絡が必要と思っている。38名という数については、50名程度は必要だと考えているため、その増員策をご審議いただきたい。また、市民・事業者・行政の三位一体の運営という考えから、事業者へのアクションは起こしているが、まだまだ事業者へのアプローチが必要なため、その方法についてもご審議いただきたい。個人情報との関係があるため、運営委員としての台帳の管理に関する規律等の議論も必要と思う。

【委員】

とりあえず、サポーターになっていただくよう声かけをすることが必要である。資料2を見る限りは、年齢層が高めである。もう少し幅広い世代のサポーターを集めた方がいい。しかし、サポーターが何をやるのかわからないと声かけをしにくいと感じる。今、市民が一番関心のあることが放射能の問題であると思う。この時期に活動センターができるのであれば、センターが放射能の窓口になることができればよいと思う。例えばPTA連絡協議会に働きかけて、サポーターになっていただければ、学校や幼稚園との連携ができるかなと思う。お母さん世代の人がたくさんサポーターになってくれればよいと思う。

【委員】

11月21日に掲載した広報で、市民の方から問い合わせ等はあったのか。

【事務局】

問い合わせはなかった。「議題(1) ウ 活動センターの周知について」でご議論いただく予定であるが、PRの方法については、ポスター、チラシ、会報及び独自のホームページ作成等に今後力を入れていきたい。周知不足については、運営委員のお知恵と経験等をお借りして、今後の方向性を定めていく必要があると考えている。

【委員】

一部の人達だけでなく、市全体にPRしていかなければならない。

【委員】

環境に対する切り口はいくらでもあるが、まずどのようなことをするのかということが決まらなないと、サポーターについても勧誘しづらい。サポーター名簿を見ると、特定の団体に偏っている。

【委員】

核心に触れる内容になってきているが、時間の都合上、議事次第を変える。大崎委員と竹内委員から活動センターがどのような活動をしたらいいかという提案があるそうなので、ご説明いただき、皆さんの認識を統一したい。

【委員】（※大崎委員から資料7について説明）

活動センターは何をなすべきかという一つの目安として作成した。あくまでも個人的に書いたものであり、活動センターの運営については、環境政策課の指導を基に、運営委員会で相談や議論をし、まとめていくべきものだと思う。

（補足説明1：1ページ目の「環境保全活動センター」は何をすべきか？について、「1 目的」の項目として記載はしていないが、市民に環境保全活動に参加したいという気持ちを持っていただくことが大切である。）

（補足説明2：2ページ目の「環境教育・学習」関係について、「注-3 環境教育の分野」の一覧表の10項目中、センターが対象とする項目は、①から⑤の項目であるように思う。中でも重要視したい項目が、①から③である。）

（補足説明3：3ページ目及び4ページ目の「インタープリテーション」関係については、インタープリテーションについて記載してあるので、参考にしていただければと思う。）

【委員】

何か質問事項等あるか。

【委員】

昨年、中学校の環境教育に携わったが、先生が一番困っていることは、環境教育について何をしたらいいのかわからないということである。また教育委員会との関係や先生の時間的余裕がないという要因もある。先生や教育委員会と話合ってみると、いろんな問題が出てくると思う。子どもたちに環境について教えようと思っても、教えた自然環境が実際になかったりする。子どもたちに、様々なことを教えてあげたいと考えている。

【委員】

いろいろな問題があるが、どこに対象を絞るかということが大事である。環境全般について行おうとすると運営委員だけでは大変である。子どもの環境教育については、自然の中で学び、覚えてもらうということが大切に思う。今、何が問題になっているのかということから考える必要がある。

【委員】

指導室とも話をしたが、学校に環境についての知識がある先生がいるかどうかで、小中学校の環境教育について差が出てしまっている実態がある。小中学校の環境教育を支援していくのが活動センターの役割だと思う。府中かんきょう市民の会で、小川の生き物調査

や田んぼの学校を行っているが、初めて体験したという声も多い。市民団体で、親子で環境について学ぶチャンスを作っていくことが大切である。

【委員】

例えば、活動センターが観察会を行う際、学校の先生を呼ぶ等、具体的な活動を行うことで、学校関係者に広がっていくと思う。学校差は確かにあるので、できることから始めていく必要がある。

【委員】

浅間山で、先日親子観察会を実施し、ムサシノキスゲの種をまいてもらったが、親がこのような子どもと学べる環境学習の機会を望んでいるのかもしれないと感じた。

【委員】

自然や環境に関すること等については、大人が子どもから教わるのが特に多い。家族で行動することを、一つのテーマとすることも必要ではないかと思う。

【委員】

総合計画の中で、活動センターが何をするかということが多く挙げられている。今までの議論は教育が主になってきているが、教育の部分はあくまでも計画の中での一部であり、それぞれの分野に対して考えていかなければならない。総合計画の中でも、市民の行っている内容が査定されていない状態が一番の課題であるように思う。少しでも「見える化」するようにしたい。そうでないと、活動センターの活動として、説得力が出ないように思う。イベント的な活動は、参加人数という形で「見える化」が単純にはできるが、もう少し違う内容についても「見える化」していきたい。総合計画の中で、活動センターが行うべき内容が出ているものを一覧にして、できることから手をかけたらいと思う。

【委員】

この議論は、次回の運営委員会で総合計画における活動センターに関する内容の資料を確認しながら行いたいと思う。

また、竹内委員からの提案事項については、次回ご説明していただくことにする。

(2) 平成24年度事業の方向性について

ア 平成24年度予算案について

【委員】

平成24年度予算案について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】(※資料6について説明)

環境保全活動センター関係予算総額は、135万9千円である。(※内訳については資料参照)

【委員】

資料に目を通していただき、次回議論したいと思う。

4 その他

【委員】

本会議の進め方について議論したい。

会議時間は2時間程度が適切かと思うが、いかがか。

(→2時間に決定)

頻度としては、月に2回か3回は実施したいと思うが、いかがか。

(→12月については2回実施に決定)

都合の良い曜日等はあるか。

(→火曜日に決定)

都合の良い時間帯はあるか。

(→3時から5時に決定)

【委員】

開設日については、皆さまがお集りいただけるのであれば、その時に会議を行うのもいいかと思う。

【委員】

開設日については、いかがか。

【事務局】

活動センターの運営について決めていただくことが多々あるので、12月1日になるべく多くの委員にお越しいただいて、その中で、具体的に決めていただければありがたいと思っている。

【委員】

12月1日はどのような対応になるのか。

【委員】

懇談会で出た意見としては、12月1日の開設日に、議員さん等が活動センターにいらっしゃるのであれば、運営委員会の委員が1名でもいいので、時間差で活動センターにいらればいかなと思う。12月1日に会議を実施するという話はなかったが、委員内で上手く時間調整ができればいいという話はした。

【委員】

できれば12月1日は詰めてほしいということか。対応については、具体的にどのようなことになるのか。

【事務局】

基本的には、具体的な仕事があるというわけではない。今年度も書籍の購入予算はご用意させていただいているが、当面の活動センターを充実させるうえからでも、書籍等の購入を早急に行う必要がある。そのために、今日の資料として、日野市環境情報センターのリストを取り寄せて提示させていただいていたが、それぞれの分野から必要な書籍等を委員の皆さまからご指摘いただきたいと考えている。

活動センターについての管理や形態、レイアウト等について考えていくうえでは、12月1日に委員の皆さまに実際に活動センターに来ていただき、今後の展開について貴重なご意見を賜りたいという希望はある。

今日の議論で、周知についての話が出たところだが、ホームページの作成について中心となる担当を決めていただき、専門部会を立ち上げることや、会報を作成することなどについても並行して進めていきたい。依頼事が多く恐縮ではあるが、運営委員の皆さまにご

協力いただきたい。

(→第2回運営委員会を、12月1日(木)午後3時から5時に開催することに決定)

(→第3回運営委員会を、12月20日(火)午後3時から5時に開催することに決定)

【委員】

開催通知等の連絡は、メーリングリストを使用することで、迅速かつ紙の節約にもなると思うがいかがか。

(→運営委員会のメーリングリストを作成し、今後メールで通知をすることに決定)

※山田委員については、別の手段で通知を行う。

【委員】

その他、事務局から何か連絡事項等はあるか。

【事務局】

11月18日に建設環境委員協議会で、活動センターの開設について報告させていただいた。2点質問があったので報告する。1点目として、土日祝日が休業となっているがなぜか。活動センターの取組みを考えると、土日祝日も実施した方がいいのではないかという質問をいただいた。このことについては、活動センターの設置場所が、府中駅北第2庁舎7階の環境政策課に併設する約20㎡、約12畳のスペースとなっており、独立した出入口はなく、環境政策課事務室を一旦通らないと、出入りができない状況となっている。従って、不特定多数の方々が訪れる活動センターにあって、職員がいない事務室に必然的に入れてしまうことは、管理上問題があることから、当面このような利用形態としている。なお、講演会、イベントなどの諸行事については、曜日、時間を特定することなく、多くの市民にご参加いただける日程を組んでいくと報告させていただいた。

2点目として、市の直営でわずか20㎡でスタートすることについて、今後の拡大・拡充の考えはあるかという質問をいただいた。このことについては、今回開設する運びとなりました活動センターについては、ゴールという訳ではなく、やっとスタートについた状態と考えている。環境問題については、生活環境、都市環境、自然環境、地球環境など広範囲にわたり、それぞれ解決すべき課題が山積している。しかしながら、それらすべてについて、総花的に実施することは難しいとも考えており、昨年度策定させていただいた、地球温暖化対策地域推進計画の中でも説明させていただいているが、当面は、喫緊の課題となっている地球温暖化対策、いわゆるエコ活動に焦点を絞り、情報の収集・発信に取組み、成果を上げる中で、議会へも報告・相談し、その機能・役割を順次拡大・拡充していきたいと考えている。その時には、NPO法人などへの運営委託等も考えさせていただきたいという報告をさせていただいた。

活動センターは非常に幅広い環境活動の拠点となるため、何年間も運営のスタートを切ることができなかったわけだが、まずは始めるということが大切だと考えている。大きな建屋があるわけではないが、器ではなく、中身から内容を充実させていこうということを環境審議会委員の皆さまからもおっしゃっていただいている。小さい場所からの始まりにはなるが、皆さまのお知恵をお借りしたい。

担当を中心として、わずか20㎡の中で電話回線の設置やキャビネットの購入等を準備

しているが、キャビネットに入れるための情報については、事務局で全て決めてしまうということではなく、運営委員会の設立を待ち、書籍の選定をしていただこうと考えていた。これから活動センターの事業に協力していただく団体が増えていく中で、団体の活動周知のための資料等についても、収納していきたい。

24年度については、インターネット関係の準備ができるよう担当で調整しているので、その際は、活動センターの専用のホームページを作成し、府中市の環境をアピールしていこうと思っているので、よろしく願います。

閉会

第2回府中市環境保全活動センター運営委員会について

■日時：12月1日（木）午後3時から

■場所：府中市環境保全活動センター

第3回府中市環境保全活動センター運営委員会について

■日時：12月20日（火）午後3時から

■場所：未定（事務局から後日連絡）